



2月に入っても、例年に比べるとあたたかい日が続いています。インフルエンザが流行し、本校初の学校閉鎖でスタートした3学期でした。短い3学期の半分近くがあつという間に過ぎ、「1月に行く、2月は逃げる、3月は去る」といわれますが、その言葉の通りにとっても早く感じます。市内では、まだインフルエンザやコロナウイルス感染症が流行しています。引き続き感染症対策をしながら、充実した学校生活を送れるよう支援していきます。

表現活動の授業をしました

5・6年生が、SPAC(静岡県舞台芸術センター)の舞台俳優を講師にお迎えして、表現活動の授業を行いました。6年生は昨年に引き続き、2度目の授業となります。「伝えるチカラ」を育むワークショップで、全身で表現する心地よさ、声や表情で伝えるおもしろさを体験しました。授業前は少し緊張した表情でしたが、授業が終わって教室から出てくるときは、みんなとてもよい笑顔でした。本校の子供たちは、少人数で同じ仲間と小さい頃から一緒に過ごしているため、伝える前に察してくれることも多々あります。そんな子供たちにとって、思いを表現し、伝える体験をすることは、よい学びになると考えます。来年度は、全校で取り組めるように計画中です。



大谷選手からグローブが届きました



新聞やテレビのニュースでも話題になった大谷選手からのグローブが、本校にも届きました。早速、子供たちは昼休みにキャッチボールを始めました。低学年の子供の中には、初めてグローブをはめる子もいて、なかなかうまくキャッチできる子ばかりではありませんが、上手な子のやることを見ながら楽しそうに遊んでいます。ドッジボール、サッカー、野球、縄跳び、鬼ごっこなど様々な遊びや運動に触れて体を動かすことを楽しむ子供たちになってほしいと思います。

ありがとう集会に向けて

年度末が近づいてきて、これまで学校の中心となって活躍してくれた6年生から様々なことを引き継ぐ時期になってきました。委員会活動では、6年生に教わりながら下級生たちが仕事を覚えています。2月22日にはありがとう集会が計画されていますが、今、3、4、5年生が中心となって準備を進めています。どんなことをして感謝の気持ちを表すか、4人が協力して準備を進める姿を見ると、来年度もみんなで学校を盛り立ててくれるのではないかと期待が膨らみます。



